

優秀賞

緑の伝道師

田島 瑞生 埼玉県熊谷市 二十三歳

大学時代の忘れられない思い出があります。福島県出身の友人、彼女は緑がいかに人を癒すかということを私に教えてくれました。コロナ禍でオンライン授業が続き、狭い学生寮の一室でパソコン画面と睨めっこするばかりの日々。ある日SNSで疲弊する日々のことを呟くと、それを見た友人が「今から行くね」と電話を掛けてきてくれたのです。

登場した友人は植木鉢を抱えていました。なかなか大きいモンステラ。私は部屋の中に植物を置く習慣がなかったので、正直乗り気ではありませんでした。しかし「絶対にこれあげた（福島弁で“置いた”）ほうがいいよ。緑の力って本当にすごいから」との熱弁を聞き私と植物との共同生活が始まりました。

それから数カ月、私はすっかり緑の虜に。目の疲れも和らぎ、そこにあるだけで気分がリフレッシュされ、なにより愛着が湧きました。聞くと彼女は上京して緑豊かな福島が恋しくなったとき、部屋に植物を置くことで元気をもらっていたとのこと。私が「緑の伝道師だね」と言うとうと、「緑の伝道師！それ最高、どんどん広めちゃおう」と喜んでいました。

日々の暮らしに緑があるということが、どれほど私の心や体を癒し、前向きに頑張る力の源になってくれるのか、彼女のやや強引な推めがなければ気付くことができませんでした。改めて感謝を伝えたいです。たくさんの方が緑と共に健やかに暮らせますように。